



# あ い か わ



れ い わ ね ん が つ か か  
令和6年1月9日(火)  
こ う ち ょ う か わ の し ん い ち ょ う  
校長 河野 慎一郎

あ  
明けましておめでとうございます。

ほんねん ねが  
本年もよろしく願っています。



しんねん あ が っ き ま つ  
新年、明けましておめでとうございます。2学期末は、インフルエンザが市内でも流行し、体調を崩していた子どもたちも多かったので、お正月は、元気に過ごしてほしいと思っておりました。各ご家庭では、どのようなお正月を迎えられたでしょうか。

ことし たつ とし たつ こい たき のぼ き と き う  
今年、辰の年です。辰は、鯉が滝を登り切った時の生まれ変わりという伝説があるように、成長や成功の象徴と言われています。

さて、子どもたちは、今年をどのような一年にするでしょうか。自分の可能性を伸ばし、未来に向かって、挑戦し成長する1年にしてほしいと期待しています。

ほごしゃ みなさま すこ こ せいちょう こ えが お とし  
保護者の皆様におかれましても、健やかな子どもの成長と子どもの笑顔あふれる年になりますことを心から願っております。

## ほんねんどさいご が っ き 本年度最後の学期におきて

3学期は、学年のまとめの学期となります。学習はもちろんですが、学級の締めくくりともなります。本年度は、合言葉を「幸せな学校」としています。子どもたちが、自分、友だち、学級、学年、学校さらには地域の幸せのために、自分から考えて行動できる姿を目指しています。



これまでに、様々な学校生活の中で、困っている友だちに声をかけたり、地域の中で自分にできることをしたりと様々な姿を見せていました。このような姿を見せてきた学級とも3月でお別れとなります。「この学級でよかった」「いつまでも仲間」と思えるような思い出を1つでも増やして、学級を締めくくってほしいと思います。みんなでどんな思い出をつくるのか楽しみです。

## 【子どもは成長するにつれ、その心理が複雑になっていく！品川孝子】

ふやす じかん  
冬休み、時間がありましたので、たまっていた子育てなどに関する本を読みました。その中で、下に載せていますが、子どもの心を読むというのは本当に難しいことであること、そして自分の子どもを信じながらも、ある時は外の目で子どもを客観的に見ることの大切さを改めて感じました。読み終えて、これからは家庭と協力していきながら子どもを育てていくことを大切にしていきたいと思いました。

1, 2歳の子どもの心は、開けっぴろげで心に戸がない。親から見れば、全部お見通し。しかられるようなことでも、なんでも、お母さんに話してくれる。でも、4, 5歳になると、かなりウソもつく。とくに、しかられそうなことは、すぐにバレルのに隠そうとする。いわば、ガラス戸ほどの戸がたてられたというところ。そして、小学校中学年になると、すりガラス戸ほどになって、お母さんでも子どもの心を、全部のぞいてみることはできなくなる。親に絶対に見せたくない点がとれていない答案などがそれ。さらに、戸はがっちりしたドアのように厚くなり、子どもが開けてくれなければ、のぞくこともおぼろしくなってしまう。これが青年期である。友だちにはあけっぴろげに会話することもあるが、すべて開放的かとなるとそうとも言えない。やはり親にしか見せない、話さないという面もたくさんある。  
こんなふうには、子ども心には親に見せたいところ、見せたくないところがあることを、親はそれとなく知ってほしいと思うのである。(品川孝子 著 忘れていませんか 子育てで大切なことを)

## 1月の主な行事予定

- 9日(火)…3学期始業式
- 16日(火)…クラブ活動
- 17日(水)…地震避難訓練 久留米市立中学校入学説明会
- 23日(火)…代表委員会
- 24日(水)…3年生親子レク
- 30日(火)…クラブ活動
- 31日(水)…1年生昔遊び GT

